

# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 136 国交省の後援によりOCHISセミナー

### ■第11回OCHISセミナー

早いもので、毎秋開催のOCHISセミナーも今年で11回目を迎えることとなりました。本年も国交省から後援を頂くことができたこと、そして、全ト協・永嶋常務理事の来賓としてのご出席が叶うなど、セミナーが行政や中央機関から、さらなる認知を得たことを大変光栄に思っています。これからも事業者さまの目線を忘れず、社会から求められる事業をコツコツと展開しておくことができればと、心新たにしているところです。

■最優先すべき中小事業者のサポート

今年のテーマは、「健康起因事故防止のための健診結果の効率的な活用方法について」テーマに基づいたハイリスクの見える化」です。



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表  
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

健康起因事故の予防対策として最も重要なことは、まずは今ある定期健康診断の情報を生かす。つまり健診結果に基づいた事後フォローを徹底することですが、多くの中小企業にはハードルが高いことも否めません。「忙しくて手が回らない」「検査結果は数字ばかりで、意味がわからない」などの理由で放置されているのではないのでしょうか。そして次に驚いてしまうのが、「健診結果は個人情報なので見てはいけない」と思い込み、「すぐさま鍵のかかるキャビネットに収納した」など、大きな勘違いをされている事業者もいまだにあることです。

■健診結果からハイリスクを見える化

私は従来から、「健康起因事故防止対策に最も有効なことは、中小企業の健診後のサポート」と思っていました。そして、やっとOCHISでは健診結果から脳・心臓疾患の根源と言われている死の四重奏(肥満・高血圧・脂質異常・血糖値)該当者を簡単にピックアップできるシステムを構築し、第11回OCHISセミナーでお披露目することになりました。

このシステムは、医療的な知識がなくてもハイリスク者を簡単にピックアップし、さらに管理者が(治療につながるための)指導を速やかにできるサポートシステムです。「高い費用を払って外部にまる投げ」ではなく、管理者が自社の大事なドライバーさんの身体にしっかりと目を向け、心を通わせながら共に自社の安全風土を作り上げていくための応援ツールなのです。

OCHISセミナーは、平成28年11月11日午後1時30分から。場所は大阪大学中之島センター10階。詳細はHPをご覧ください。

(次回は11月14日号に掲載)